

糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー

講義はオンデマンド受講、ディスカッションは遠隔参加！

周産期医療に携わる私たちには、糖代謝異常を抱える妊婦に対して、妊娠期・分娩期の支援のみならず、産後も長期に亘って支援することが求められています。産後の2型糖尿病発症の予防策も徐々に明らかとなっており、中でも母乳育児の継続、非妊時体重への早期復帰等が効果的です。まさに助産師として支援できる部分と思います。周産期周産期・育児期の糖代謝異常のリスクに対して適切に支援することは、女性の一生の健康を支援すると考えます。2020年4月、「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」が産後に拡大！しています。助産師外来でどう取り組むかを含め、意欲的に取り組んでほしいと思います。

今年度から、遠隔前提で、コンパクトにし、その分、参加費を減額しています。講義編では、周産期・育児期を専門とする看護職が、この時期の糖代謝異常に関わる科学的に正しい情報を獲得し、適切に支援できることを目指しています。また、講義受講と事前事後テストの受験で、**CLoCMiP®レベルⅢ認証申請に利用可能です**。フリーディスカッション編は、遠隔でリアル開催とします。小グループに分かれ、受講者同士の情報交換、ファンリテーターからのアドバイスをを行います。

【対象者】 テーマに関心を持つ看護職(助産師、看護師、保健師)及び栄養士等の医療職

【開催日】 講義編: オンデマンドで視聴(視聴期間: 2022年12月1日(木)~2023年1月26日(木))
 ディスカッション編: ZOOMでの遠隔参加(講義編修了者、下記のどちらかに参加)

2023年1月28日(土) 13:30~15:30あるいは1月29日(日) 13:30~15:30

【参加費】 7,500円(会員、入会手続き中も会員で参加可)、15,000円(非会員)

【定員】 50名

【申込方法】 右のQRコードにアクセスし、必要な情報を入力ください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfDY0o659mUlfvq-dyj62Q1zXjv5Ri076IB_2ozacvpoNgtfw/viewform

ラダー修了証をご希望の場合、助産師免許番号も必要となります。

申し込み確認後、振込先情報をお知らせします。

※参加費の振り込みが確認された時点で、参加方法を個別にご案内します)

【応募期間】 2022年10月3日(月)~11月25日(金)

【プログラム】



| オンデマンドで視聴 | | ※講義に対する質問は、成田がメールで対応します。 | |
|-----------|-----|--|----------------------------------|
| | 5分 | オリエンテーション⇒事前テストの受験 | (成田) |
| ① | 90分 | 周産期の糖代謝異常の診断と治療 | 講師: 安日一郎(長崎医療センター顧問 産婦人科医) |
| ② | 90分 | 糖尿病の食事療法 | 講師: 長谷川陽子(東京大学病院管理栄養士、博士(看護学)) |
| ③ | 90分 | 糖代謝異常妊産褥婦の心理・体験 | 講師: 山田 加奈子(大阪府立大学講師、看護政策検討委員会委員) |
| ④ | 90分 | 糖代謝異常妊産褥婦の看護~周産期の糖代謝異常の血糖コントロールと食事・運動~ | 講師: 成田 |
| ⑤ | 90分 | 妊娠糖尿病妊産褥婦への支援~事例紹介~(診療報酬での対応含む) | 講師: 成田 |
| | 5分 | 以上の受講を確認して、事後テストの受験 | (成田) |

フリーディスカッション(ZOOMのブレイクアウトルーム)

※1グループ 6~7名に

120分 糖代謝異常妊産褥婦の看護の実際について語る ファンリテーター1名が参加

* 講義編①~⑤は、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証申請に活用可能な研修(必須研修:⑥フィジカルアセスメント:代謝(22_C06C06_08_01039)です。助産師でご希望の方に修了証書を発行します。

* 講義編完了、ディスカッション編の参加確認できた場合、日本母性看護学会受講修了証書を発行します。

主催: 一般社団法人日本母性看護学会(開催責任者: 成田伸(生涯学習支援委員会副委員長、自治医科大学看護学部教授))

問い合わせ先: 成田 (snarita@jichi.ac.jp)